

令和元年度 町政座談会

令和元年8月22日

町長施策方針説明

- 行政の信頼回復
- 財政の立て直し
- 産業(農業・商工業・観光業)の活性化
- 安心・安全で住みやすい町づくり

役場各課の課題と重点事業などの
説明を行います

総務税政課

* 課題 町税、国保税及び「ふるさと納税」などの
歳入確保が最重要課題

- * 重点事業 ①防災行政無線の更新、消防施設の整備
② 職員の資質向上に向けた研修の実施
③ふるさと納税の推進
④行政改革の推進と事務執行の適正化



企画財政課

- * 課題 厳しさを増す財政状況の改善
- * 目標 自主財源の確保・事業の見直し・経費削減
- * 重点事業
 - ・ 税込、使用料の収納率の向上
 - ・ 中間ヒアリングによる次年度事業の見直し
 - ・ 事業の終期年度の設定
 - ・ 施設の長寿命化を図る維持補修への転換
 - ほか遊休財産の積極的な売却・貸付の推進
 - 新たな補助金に関する情報の収集 など
 - ・ 町の最上位計画である第8次総合長期計画策定
 - ・ 総合戦略に基づいた広域連携の推進
 - ほか役場各課の横断的取り組みの推進など



福祉保健課

- * **課題** すべての世代が安心して健康に暮らすための「まるごとケアシステム」の構築
- * **目標** ・子育て支援の充実・保健医療体制の充実 ・地域福祉の充実
・高齢者福祉の充実・障がい者福祉の充実・社会保障の充実
- * **重点事業**
 - ・妊産婦・乳幼児健康診査、新生児全戸訪問などによる切れ目のない支援
 - ・各種健診、がん検診の推進
 - ・介護職員初任者研修事業
 - ・介護予防事業の普及啓発（いきいき百歳体操、C型、リアン等）



福祉保健課

「綾町プレミアム付き商品券」の販売を行います

- * 10月に実施される消費税引き上げに伴い実施されるもので、住民税非課税の方（課税者の被扶養者や未申告者は除きます）、3歳未満の子どもを持つ子育て世帯の方が対象です。
- * 1冊5,000円（500円券の10枚綴り）の商品券を4,000円で販売します。プレミアム率25%

【申請受付期間】 12月27日まで

【商品券購入期間】 10月1日～令和2年1月31日

【商品券使用期限】 10月1日～令和2年2月29日

該当者には、申請書や引き換え券が届きます。

早めに手続きをして、期日までにご利用ください。

農林振興課



課題 担い手の確保、産地の拡大

展望 綾ブランドを最大限に活かし、さらなる綾町農業の発展と経営の安定化
重点的に取り組むこと

- ① 町のブランドイメージを活かしたPRと人の呼び込み、JAの研修事業の推進、新規就農者等を対象に中古ハウスを有効活用したハウス整備を支援
- ② 綾町農業支援センターの中核事業として、農作業支援事業及び農畜産物のPR・販売事業の拡充に向けて、生産者のニーズや課題の整理、事業実施体制について検討
- ③ 綾町農畜産物総合価格安定基金は、運用面に課題があることから基金事業を終了し、今後、生産者の意向を踏まえて新たな経営安定対策の構築に向けて検討
※ 詳細は、運営委員会で審議のうえ決定

産業観光課

- * 課題 中心市街地のにぎわい減少と観光客の多様化への対応
- * 目標
 - ・商工業の振興
 - ・まちなか回遊性の向上
 - ・観光およびレクリエーションの振興
- * 重点事業
 - ・教育・スポーツ合宿の推進およびイベント充実による誘客
 - ・自転車利用促進等によるまちなか回遊性の向上および広域連携による観光促進
 - ・2020年オリンピックホストタウンとして文化・語学・スポーツ交流
セーシェル共和国との交流実現に向け交渉中



町民生活課

- * 課題
 - ・ゴミ収集問題(収集回数・指定袋・生ゴミ収集・集積所問題)
 - ・利用しやすい窓口改善(待ち時間短縮・個人情報保護)
- * 展望
 - ・高齢化社会に配慮した戸別収集など先進的な収集体制への移行
 - ・窓口での待ち時間短縮や個人情報保護に配慮したカウンターの配置など、利用しやすい役場窓口の環境を整える
- * 重点事業
 - ・収集回数の増加や集積所での問題点を解決させるために、現行の直営方式から民間委託への移行を検討していく
- * その他 **※ゴミ減量化**
 - ⇒ **①リサイクルの推進**
 - ②エコクリーンの搬入手数料徴収**





建設課

地域の皆さんが平和に暮らせるインフラを守る

町にいきおいを、にぎわいを。そして子どもに夢を



- 1管理係 魅力ある空間創出 → 花いっぱいのまちづくり
- 2上下水道係 48年経過した上水道の水道管(総延長約60km)の老朽化
→漏水が頻発・・・本年度は中川原水源地～錦原配水池の管の整備
30～40年かけて更新整備予定(料金改定の必要性)
- 3建設係 道路(総延長約190km)、橋梁(95基)の維持補修
県道宮崎須木線の無電柱化工事中(～令和3年度 予定)
- 4その他 災害時のライフライン確保・復旧
地域振興・観光振興策と連動した都市整備
- 5お願い 町道沿い、個人の住宅や墓地周辺の私有林の管理について
(車両通行の妨げや台風時の倒木が目立ちます)



ユネスコエコパークとは

- * **生態系の保全と自然と人間社会の共生**を目的として、ユネスコが開始しました。
- * ユネスコの自然科学セクターで実施される「ユネスコ人間と生物圏 (MAB: Man and the Biosphere) 計画」における一事業として実施されています。
- * **地域の豊かな生態系や生物多様性を保全し、自然に学ぶと共に、文化的にも経済・社会的にも持続可能な発展を目指す取り組み**です。
- * ユネスコエコパークは国内で親しみをもってもらうためにつけられた通称で、海外では「BR Biosphere Reserves (生物圏保存地域)」と呼ばれています。

綾ユネスコエコパーク

Aya Biosphere Reserve



「いのち豊かな綾をめざして」

日本最大級の照葉樹林を有する綾町は、**半世紀にわたって森を守り、自然と共生する地域づくりを進めてきました。**

このことが世界的に高い評価を得て、**2012年7月、ユネスコエコパークに登録されました。**

これは**先人達の過去の取り組みが評価された**ということだけでなく、**未来に引き継ぐという想いを世界に向けて宣言した**ことを意味します。



「生態系の保全」の取り組み

照葉樹林伐採計画
昭和42年(1967年)

三位一体の住民運動

国定公園に指定
昭和57年(1982年)



行政

議会

自治
公民館

「自然と人間社会の共生」の取り組み



自然 持続可能なコミュニティの形成 活動



伝統文化の継承

自然の癒やしの中でスポーツ合宿

イベント開催による地域活性化



自然のめぐみ

ユネスコエコパーク推進室

* 課題 SDG's(持続可能な開発目標)を意識した各種事業の位置づけ

* 目標 持続的なエコパークのまちづくり

* 重点事業 ①綾の照葉樹林プロジェクト
②大学等研究機関との連携事業
③イオンの森 植樹祭
10月19日(土) イオンの森



教育総務課

*** 課題** 綾に学び綾を誇りに思い
主体的に社会参画する児童生徒の育成

*** 展望**

- ・確かな学力を育む
- ・健やかな体を育む
- ・豊かな心を育む
- ・誰もが輝く教育を推進する
- ・信頼される教職員を育成する
- ・教育環境を充実する

*** 重点事業**

- ・児童生徒用 I C T環境の整備と I C T支援員の配置
- ・綾町ならではの学校における働き方改革
- ・スクールソーシャルワーカー (S S W) の導入



社会教育課

- * 課題 自治公民館加入率の減少による地域コミュニティの活力低下
- * 目標 青少年の健全育成
生涯学習社会の確立
地域文化の育成
地域コミュニティの育成
- * 重点事業 子ども会活動、子ども議会
生涯学習の推進(公民館・自治公民館講座)
学校支援地域本部事業
自治公民館活動の推進・花いっぱい運動
- * その他 地域での生涯スポーツの振興(ウォーキングなど)

